

2020年（令和2年）度 活動報告書

2020年度 活動報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

認定特定非営利活動法人バージャー病研究所

1 事業実施の成果

バージャー病の病因について細菌学的な研究が進められ、学会や研究会で公表してきた。今期は、論文が公表になった他、「血管学」などに最新の知見を掲載することができた。岩井武尚所長を中心に引き続き研究を進め、論文を執筆中である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 千円 (予算額)
A) バージェャー病に関する研究事業	歯周病菌関与に関する細菌学的研究・発表	随時	バージャー病研究所及び東京医科歯科大学歯学部歯周病科	6名	外来患者 50名	582 (500)
B) バージェャー病に関する疫学的研究事業	歯周病患者とHLA 遺伝子に関する基礎的研究	随時	バージャー病研究所及び東京医科歯科大学難治疾患研究所	4名	検体保存 患者 100名	0
C) バージェャー病撲滅の為の国際的事業	バージャー病の多い国（東・東南アジア諸国等）への啓発活動	随時	バージャー病研究所	5名	各国バージャー病患者 20万～30万名（推定）	0 (800)
D) バージェャー病に関する啓発活動	国内におけるバージャー病に関する啓発活動	随時	バージャー病研究所	2名	国内患者 及び関係者	312 (300)
E) その他血管疾患に関する総合的研究啓発活動	閉塞性動脈硬化症、動脈瘤、静脈瘤に対する細菌学的検討・発表	随時	バージャー病研究所及び東京医科歯科大学	5名	外来及び 入院患者 300名	385 (500)

2021年（令和3年）度活動計画書

2021年度 活動計画書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

認定特定非営利活動法人バージャー病研究所

1 事業実施の方針

バージャー（ビュルガー）病に関する免疫学的考察を深め公表する。
アジア諸国を中心とした国際的事業および全国の医療機関との連携を推進し、実態を正しく広く理解してもらう。新型コロナウイルス感染症による新しい活動形態に対応させ啓発活動や国際事業を進める。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額千円
A) バージャー病に関する研究事業	歯周病菌関与に関する細菌学的研究・発表	随時	バージャー病研究所及び東京医科歯科大学歯学部歯周病科	5名	外来患者50名	500
B) バージャー病に関する疫学的研究事業	歯周病患者とHLA 遺伝子に関する基礎的研究	随時	バージャー病研究所及び東京医科歯科大学難治疾患研究所	4名	検体保存患者100名	0
C) バージャー病撲滅の為の国際的事業	バージャー病の多い国（東・東南アジア等）への啓発活動	随時	バージャー病研究所	5名	各国バージャー病患者20万～30万名（推定）	300
D) バージャー病に関する啓発活動	国内におけるバージャー病に関する啓発活動	随時	バージャー病研究所	2名	国内患者及び関係者	300
E) その他血管疾患に関する総合的研究啓発活動	閉塞性動脈硬化症、動脈瘤、静脈瘤に対する細菌学的検討・発表	随時	バージャー病研究所及び東京医科歯科大学	5名	外来及び入院患者300名	500